



特定非営利活動法人 フェリスモンテ

(大阪府大阪市) <http://www.otasha.jp>

高齢者をはじめ、地域の一人ひとりが安心して暮らし続けられるよう、その状態や環境に応じた介護や援助、支え合いやつながり作りに寄与することを目的として1999年に設立された。地域の様々な団体と協働して、高齢者分野だけではなく、障害者、子育て、生活困窮支援などを制度の有無を超えて複合的に行っている。

助成テーマ

“活動したいニーズ”のマッチング事業

[事業内容]

協議体(*)の活性化

2か月に1回実施。個別の課題や地域課題に対する取り組みを共有し、連携をすすめながらニーズのマッチングに取り組む。協議体では訪問型Bや介護予防ポイント事業の活用についての議論等もすすめ、さらなる活性化をはかる。

*区役所、区社会福祉協議会(生活支援コーディネーター(SC)、地域支援)、地域包括支援センター、まちづくりセンター(地縁組織等支援)、NPO(自組織)、市役所(オブザーバー)で実施

支援者の強化

- ・分かりやすいチラシやHPを作成し周知する。
- ・関係者と連携し、活動者向け研修会を実施する。
- ・協議体メンバーと連携した個別マッチングの実施

[事業の実績]

- 参加者数：約170人
- プログラム実施回数：14回
- チラシ作成数：5,000枚
- ポスター作成数：500枚



[事業の成果]

- ・活動者へのインタビューを通して「利用者に喜ばれることを通して、活動者自身がやりがいを感じている」ことを活動者と運営者が共有できた。第一層協議体メンバーにとっても「参加」の機会を提供する活動の大切さを理解する機会になった。
- ・プロボノ支援により「あなたの元気が、だれかの笑顔につながります」というキャッチコピーを作ることができた。
- ・障がい者や在留外国人など「参加」の機会が制限されているマイノリティの活動機会を提供することができた。

[今後の展望・課題]

- ・参加支援の重要性と具体的な取り組みの共有が図れたため、現在開発中のオンライン「いくのアプリ」等も活用して、活動したい高齢者の紹介や連携のさらなる充実をめざす。
- ・ニーズ対応が課題であった「そうじ」に対し、障がい者就労支援B型事業所と連携することで対応できるようになった。訪問型活動の利用者数や活動時間数も1.5倍に増加し、一層の活動基盤づくりを進める。